

いわて 復興 だより

がんばろう!岩手 つながろう!岩手

第172号
令和3年4月号



三陸復興

平成23年3月11日に東日本大震災津波が発生しました。発災以来、国内外から多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切にし、復興のステージを更に前に進めていく岩手県の今を紹介します。

復興道路等開通

令和3年3月、東日本大震災津波からの復興のリーディングプロジェクトとして国などと連携して整備を進めていた2つの復興道路等が開通しました。

開通

宮古盛岡横断道路 全線開通

盛岡市
MORIOKA

宮古市
MIYAKO

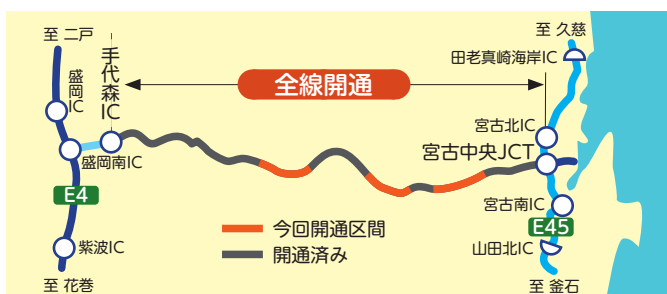
令和3年3月28日(日)、復興支援道路 宮古盛岡横断道路(計画延長66km)が全線開通しました。

同日行われた開通式には、達増知事ら関係者約50名が出席し、テープカットの後、約50台の関係車両により通り初めが行われました。

今回、最後の整備区間となる、臺目―腹帯間、川井―一箱石間、平津戸・岩井―松草間の3区間(計21km)が開通したことにより、宮古市と盛岡市間の所要時間は約75分と、震災前と比べて約30分短縮され、今後の物流や観光の活性化が期待されています。



開通式(テープカット及びくす玉開披)の様子(写真提供:三陸国道事務所)



開通

三陸沿岸道路 「侍浜IC-洋野種市IC」 開通

久慈市
KUJI

洋野町
HIRONO

令和3年3月20日(土)、復興道路 三陸沿岸道路「侍浜IC-洋野種市IC」間(延長16km)が開通し、久慈市から八戸市までが高規格幹線道路でつながりました。

同日行われた開通式では、達増知事や沿岸市町村長ら約60人が出席し、テープカット等を行いました。

今回の開通により、久慈市から八戸市までの所要時間は約50分と、これまでより約10分短縮され、輸送効率化による生産性向上や県境を越えた地域間交流の促進が期待されます。

■問い合わせ

岩手県県土整備部道路建設課

☎ 019-629-5866

岩手県の復興道路に

についてはこちら➡



開通式(テープカット及びくす玉開披)の様子(写真提供:三陸国道事務所)

岩手県 復興防災部 発足

岩手県では、復興を引き続き県の最重要課題と位置づけ、その着実な推進に取り組むとともに、東日本大震災津波や台風災害からの教訓・知見を危機管理事案への対応に生かし、迅速な復旧・復興につなげていくため、令和3年4月1日から、新たに復興防災部を設置しました。

■問い合わせ 岩手県復興防災部復興危機管理室 ☎ 019-629-6925

根浜海岸・高田松原海水浴場の砂浜一般開放

東日本大震災津波で大きな被害を受けた2つの砂浜が再生工事等を完了し、令和3年春から一般開放を始めました。夏の海水浴シーズンに向けて、一層のにぎわい創出が期待されています。

オープン 根浜海岸

釜石市
KAMAISHI



再生した砂浜の様子（令和3年3月10日撮影）

令和3年3月31日（水）、釜石市の根浜海岸の砂浜が一般開放されました。

根浜海岸は県内有数の海水浴場で、震災前には年間約7万人が訪れていましたが、震災で砂浜が消失するなど甚大な被害を受けていました。

県が平成29年度から進めてきた砂浜再生事業が終了し、今回の一般開放となりました。

■問い合わせ

岩手県沿岸広域振興局土木部河川港湾課

☎ 0193-27-5572

オープン 高田松原海水浴場

陸前高田市
RIKUZEN TAKATA

令和3年4月1日（木）、陸前高田市の高田松原海水浴場の砂浜が一般開放されました。

高田松原海水浴場は、東日本大震災津波で大部分が失われ、県が平成25年度から砂浜再生事業を進めてきました。7月には11年ぶりの海開きが予定されています。

駐車場は当面の間、道の駅高田松原を利用し、海開きまでにトイレ棟及びシャワー棟を設ける予定です。

■問い合わせ

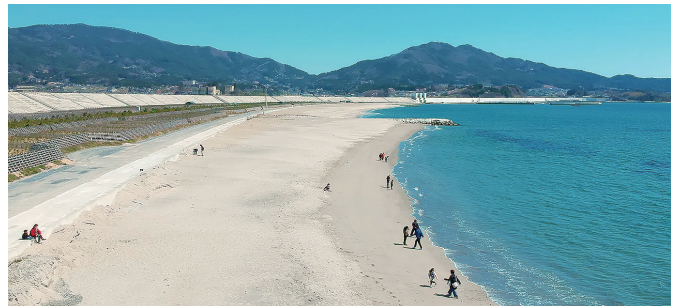
【砂浜開放関連】 岩手県沿岸広域振興局土木部
大船渡土木センター河川港湾課

☎ 0192-27-9934

【海開き関連】

一般社団法人陸前高田市観光物産協会

☎ 0192-54-5011



開放された砂浜の様子（写真提供：道の駅高田松原）

世界へ、未来へ いわて TSUNAMI メモリアル

東日本大震災津波の事実と教訓を伝える施設「東日本大震災津波伝承館」（いわて TSUNAMI（つなみ）メモリアル）を紹介します。

令和3年4月1日（木）、東日本大震災津波伝承館では、来館者の案内や展示の解説などに従事する解説員に対する新年度の辞令交付式が行われました。

藤澤副館長から辞令書を受け取った、中国語対応の新人解説員を含む10名の解説員は、使命感に満ちた表情で、震災伝承に対する気持ちを新たにしていました。

東日本大震災津波から11年目を迎えましたが、伝承館では、今後も感染症対策を徹底しながら、東日本大震災津波の事実と教訓を伝え続けていきます。



辞令交付式の様子

東日本大震災津波伝承館の「リーフレット」をリニューアルしました。

東日本大震災津波伝承館の展示内容や、伝承館が位置する高田松原津波復興祈念公園の概要を紹介するリーフレットを改訂しました。

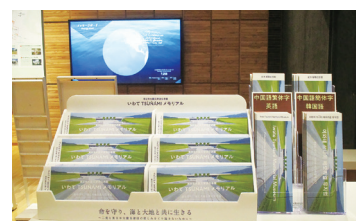
デザインを一新したリーフレットは、日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語に対応しています。

また、復興教育の一環で訪れる小学校が増えていることから、文字を大きくし、ふりがなを付けるなど、より分かりやすい形にした小学生版を新たに作成しました。このリーフレットは、館内に配架しているほか、伝承館のホームページにも掲載しています。

■問い合わせ

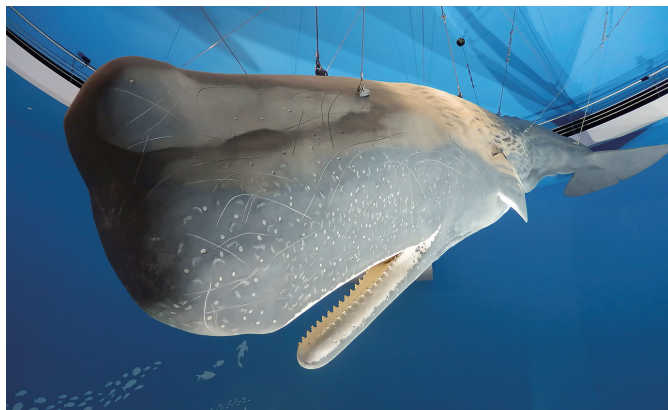
東日本大震災津波伝承館

☎ 0192-47-4455



リーフレットの館内配架の様子

オープン

山田町立「鯨と海の科学館」
完全復活山田町
YAMADA

鯨の原寸大模型（写真提供：鯨と海の科学館）

令和3年4月1日(木)、東日本大震災津波と令和元年の台風第19号で被災した山田町の「鯨と海の科学館」が、全館での展示を再開しました。

同館は、東日本大震災津波後、平成29年7月に再開しましたが、令和元年の台風第19号で1階が浸水し、再び長期休館を余儀なくされていました。

令和3年4月10日(土)から5月30日(日)まで、震災10年を振り返る企画展「時の流れとともに」が開催されており、被災資料や写真の展示が行われていますので、ぜひ、ご来館ください。

■問い合わせ 山田町立 鯨と海の科学館
☎ 0193-84-3985



出版

コミックいわて+ 発行

テン

発行

全国
ALL AREA

岩手の多彩な魅力を発信する漫画単行本「コミックいわて」シリーズの第10巻『コミックいわて+』が令和3年3月19日(金)に発行されました。

岩手ゆかりの漫画家が岩手をテーマに描いた12作品のほか、発行10周年を記念して漫画家18名から寄せられたサイン色紙が収録され、巻頭では、東日本大震災津波に関する記事や、「コミックいわて+」に収録される震災関係3作品を紹介する記事が、カラーで特集されています。

また、タイトルの「+」には、第10(十)巻であることと、10周年という節目にあたり、これまでの積み重ねに加え、これからも新たな歴史を刻んでいくという意味が込められています。

県内外書店、インターネットで発売中です。ぜひお手に取ってみてください。



■問い合わせ

岩手県文化スポーツ部文化振興課
☎ 019-629-6286

『コミックいわて+』表紙

「コミックいわて」についてはこちら➔



さんりくイベント情報 ~ 東北DC編 ~

東北デスティネーション
キャンペーン 開幕

令和3年4月1日(木)、東北6県とJR各社が合同で実施する大型観光企画「東北デスティネーションキャンペーン(以下、「東北DC」)」が開幕しました。東日本大震災津波から10年の節目に当たり、東北DCを通じて、これまでの国内外からの支援に対する感謝の気持ちを伝えるとともに、「花」「自然・絶景」「歴史・文化」「酒・食」「温泉」「復興」の6つをテーマに東北6県の魅力を発信し、9月末まで、様々な特別企画を実施する予定です。令和3年4月3日(土)には、盛岡駅前前でオープニングセレモニーが開催され、達増知事らによりテープカットが行われ、その後、「東北DC復興号」で来県された観光客約80名をお出迎えました。



■問い合わせ

岩手県商工労働観光部観光・プロモーション室
☎ 019-629-5574

岩手県観光ポータルサイト いわたの旅➔



三陸大槌町「郷土芸能かがり火の舞」

大槌町
OTSUCHI

予約 ※当日17時までに大槌町内宿泊先に要予約。
日帰り等での鑑賞希望の場合は、お問い合わせください。

年に一度、9月に開催される「大槌まつり」の前夜祭として神社で舞を奉納する「宮宮」の雰囲気や、東北DC期間中、かがり火のもと鑑賞いただけます。

開催期間 令和3年4月～9月の第2・第4土曜日
開催時間 20:00～21:00(終了予定)
料金 大槌町外の方：お一人様500円(税込)
未就学児無料

大槌町内の方 郷土芸能伝承協力金(募金)に御協力下さい。
●問い合わせ 一般社団法人大槌町観光交流協会
☎ 0193-42-5121

久慈地下水族科学館「もぐらんぴあ」で楽しむ
「ナイトツアー」久慈市
KUJI

予約 ※要事前予約(7日前まで)
東北DC期間中、通常の営業時間終了後に「ナイトツアー」を開催し、普段は見られない夜の水族館を公開します。
※最少催行人員は10名様以上(定員20名)

開催期間 令和3年4月～9月の第2・第4金曜日と土曜日
(GW期間及びお盆期間を除く)

開催時間 18:30～19:30
料金 一般1,700円、高・大学生1,500円、小・中学生1,300円、未就学児無料
休館日 月曜日(※月曜日が休日の場合はその翌日が休館日)
●問い合わせ 久慈地下水族科学館もぐらんぴあ
☎ 0194-75-3551





野田村 復興展示室

「野田村復興展示室」は、東日本大震災大津波により全壊し、平成29年に再建した保健センターの3階に整備されました。

「野田村復興展示室」は、東日本大震災津波による被害状況や教訓、復興の足跡を将来に語り継ぐための展示施設であり、震災伝承ネットワーク協議会震災伝承施設に登録されています。保健センター外観には、震災津波浸水水位が表示され、復興展示室では、被災から復興までの様子を映像やパネルで紹介しています。

心の復興支援活動の一環として制作された被災前の野田村中心部のジオラマ模型があり、住民それぞれの思い出の野田村が描かれています。

場所 野田村保健センター3階（岩手県九戸郡野田村大字野田第17地割107番地）

開放日 月曜日～金曜日 午前9:00～午後5:00

休館日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

※震災語り部ガイド希望の場合や、休日利用希望の場合等は、事前にご相談ください。

■問い合わせ 野田村役場 未来づくり推進課 ☎0194-78-2963



保健センター外観（写真提供：野田村）



震災前の街並み復元模型
（写真提供：野田村）



いわてさんりくびと

連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復興に向け、熱い想いをもち、活躍する方々を紹介し、第118回は**太田 堅**さんをご紹介します。

岩手県立釜石高等学校3年生

おおた けん
太田 堅さん



～ 後輩たちへ継いでいく ～

PROFILE

釜石市出身。釜石市立釜石中学校を卒業し、県立釜石高等学校へ進学。昨年の6月から「第23代高校生平和大使」として核廃絶の署名活動に取り組む。新型コロナウイルス感染症の影響により国連欧州本部に署名を届けることはできなかったが、広島県での研修に参加し知見を広げた。

釜石らしいかたちで感謝を伝えたい

震災から10年の節目に、世界に向けて復興支援への感謝の気持ちを釜石らしく伝えたい、と企画したのが、太田さんがリーダーを務めた「大漁旗プロジェクト」です。

釜石高校の昨年の2年生各クラスから大漁旗のデザインを募集し、文化祭時に全校生徒の投票で決定。令和3年3月11日には、釜石商工高校の校庭で、釜石高校の生徒が大漁旗を振り、釜石商工高校の生徒が虎舞を踊り、太田さんが感謝の気持ちを英語でスピーチしました。その様子を撮影した動画は、次期第24代平和大使が国連欧州本部を訪問する際に届ける予定です。

後輩たちへ、受け継がれる思い

太田さんは今回のプロジェクトを振り返り、「大漁旗のデザイン制作

をした昨年の9月は、文化祭の準備や部活の新人戦があり忙しい時期なのに、皆が協力してくれて嬉しかったです。スピーチでは、いつまでも被災地と呼ばれているのではなく、この10年で復興に向かっていくことを知ってほしいという思いを込めました」と語ります。

釜石高校では「大漁旗プロジェクト」の他にも、10年後の未来の自分に向けたメッセージ入りの折り鶴づくりや、防災に関する出前授業を企画しています。「震災当時、僕は小学1年生で、震災のことを鮮明に覚えている最後の世代ではないかと思っています。だからこそ、僕たちが語ることで後輩たちへと震災の記憶を伝えていきたいです。」と、活動が後輩たちへと受け継がれていくことを、太田さんは願っています。

岩手県の被害状況

令和3年3月31日現在

- 人的被害 死者：5,145人（余震、震災関連死を含む）
行方不明者：1,111人
- 建物被害（住家のみ、全半壊）26,079棟
被害状況等の詳細／義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

皆様のご支援、ありがとうございます

令和3年3月31日現在

- 義援金受付状況 約187億7087万円(98,011件)
 - 寄付金受付状況 約201億6973万円(10,854件)
 - いわての学び希望基金(※)受付状況 約103億2980万円(25,548件)
- ※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。



いわて震災津波アーカイブ～希望～

約24万点の資料を検索・閲覧できます。

[いわて震災津波アーカイブ](#)

[検索](#)



いわて復興だより 第172号

令和3年4月26日発行 企画・発行／岩手県復興防災部復興推進課 ☎019-629-6945 編集・印刷／永代印刷株式会社